INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO iDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2019年第44週
（10月28日～11月3日）

＊ 2019年11月6日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
http://survey.tokyo-eiken.go.jp/
＊ 今週は感染症豆知識「結核の集団感染対策」も掲載しています。

令和元年(2019年)11月7日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電　話：03－3363－3213(直通)
ＦＡＸ：03－5332－7365
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患　報告数（一類～四類）2019年44週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		41週	42週	43週	44週	年累計	44週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	55	53	49	62	2,659	322	17,855
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	中東呼吸器症候群 *2							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ					2		4
	細菌性赤痢	1		1	1	18	2	84
	腸管出血性大腸菌感染症	7	12	8	5	355	75	3,341
	腸チフス					3		34
	パラチフス					3		14
四類	E型肝炎	1	3	3	2	112	7	421
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	3		4		129	2	385
	エキノコックス症						1	18
	黄熱							
	オウム病					3		13
	オムスク出血熱							
	回帰熱							5
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							2
	サル痘							
	ジカウイルス感染症						1	2
	重症熱性血小板減少症候群 *3					1		96
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱	1	1			8		43
	つつが虫病					1	5	100
	デング熱	8			3	112	7	407
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)							

*1　病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2　病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3　病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		41週	42週	43週	44週	年累計	44週	年累計
四類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						8	275
	日本脳炎							6
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					1		2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							1
	マラリア				1	17	1	48
	野兎病							
	ライム病			1		1	2	16
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							2
	レジオネラ症	2	1	4	3	161	49	2,016
	レプトスピラ症		2			8		26
	ロッキー山紅斑熱							

2019/11/6集計

(全数把握対象疾患のコメント・一類～五類)

〈二類感染症〉

結核　62件　患者および死亡後診断 42件(肺結核 32件、その他の結核 9件、肺結核及びその他の結核 1件)、無症状病原体保有者 20件、年齢は5歳未満 2件、10代 2件、20代 7件、30代 4件、40代 8件、50代 9件、60代 10件、70代 13件、80代 4件、90歳以上 3件、推定感染地は国内 52件、インドネシア 2件、ネパール 1件、中国 1件、不明 6件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢　1件　患者、菌種はソンネ、年齢は40代、推定感染地はインドネシア、推定感染経路は経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症　5件　患者 2件(うちHUS 1件)、無症状病原体保有者 3件、血清型・毒素型はO26 VT1 1件、O91 VT1・VT2 1件、O157 VT2 1件、血清型不明VT1 1件、血清でのO抗原凝集抗体の検出 1件、年齢は5歳未満 1件、20代 2件、50代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 3件、不明 2件、推定感染経路は接触感染 1件、不明 4件であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎　2件　患者 2件、年齢は40代 1件、70代 1件、推定感染地は不明 2件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 1件であった。

デング熱　3件　病型はデング熱 3件、血清型は2型 1件、不明 2件、年齢は30代 2件、50代 1件、推定感染地はフィリピン 2件、ベトナム 1件であった。

マラリア　1件　病型は四日熱、年齢は20代、推定感染地はカメルーンであった。

レジオネラ症　3件　病型は肺炎型 3件、年齢は60代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は水系感染 3件(温泉 2件、詳細不明 1件)であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢　3件　病型は腸管 3件、年齢は40代 2件、70代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は性的接触 2件(同性間 1件、異性間 1件)、不明 1件であった。

ウイルス性肝炎　4件　B型 4件、年齢は20代 3件、40代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は性的接触 3件(同性間 1件、異性間 2件)、不明 1件、B型肝炎ワクチン接種歴無し 3件、不明 1件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症　8件　病原菌はエンテロバクター・クロアカ 4件、クレブシエラ・アエロゲネス 3件、肺炎桿菌 1件、年齢は60代 2件、70代 2件、80代 4件、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は以前からの保菌 6件、医療器具関連感染 1件(中心静脈カテーテル)、不明 1件、90日以内の海外渡航歴はすべて無し であった。

急性脳炎　2件　病原体はインフルエンザウイルスA型 1件、不明 1件、年齢は10歳未満 1件、10代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病　1件　孤発性-古典型CJD、年齢は80代であった。

全数把握対象疾患 報告数 （五類） 2019年44週

分類	対象疾患	東京都（保健所受理週）					全国(診断週)	
		41週	42週	43週	44週	年累計	44週	年累計
五類（全数届出）	アメーバ赤痢	3		4	3	138	5	722
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）		1	2	4	83	5	283
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6	7	4	8	187	48	1,890
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く） *1		1			5		63
	急性脳炎 *2	2	1	3	2	71	10	728
	クリプトスポリジウム症					4		19
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1	1	17	3	161
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2		3	2	104	14	764
	後天性免疫不全症候群	7	4	9	4	322	13	996
	ジアルジア症			2	1	8	1	41
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		3	1	1	72	4	468
	侵襲性髄膜炎菌感染症					4		41
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	1	3	11	307	44	2,631
	水痘（入院例に限る）	3	1	2	2	63	3	397
	先天性風しん症候群				1	2	1	4
	梅毒	31	33	32	30	1,461	74	5,597
	播種性クリプトコックス症	1			1	11	2	124
	破傷風				1	7	4	111
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					6	3	64
	百日咳	28	18	23	33	1,206	235	14,668
	風しん	2	2	2	3	849	10	2,256
	麻しん		1			120	3	729
	薬剤耐性アシネトバクター感染症					2		24
								2019/11/6集計

*1 2018年5月1日より追加指定された。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 血清群はA群 2件、年齢は50代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は創傷感染 1件、不明 1件であった。

後天性免疫不全症候群 4件 無症候キャリア 3件、その他 1件、性別は男性 4件、年齢は20代 1件、40代 2件、50代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は同性間性的接触 3件、不明 1件であった。

ジアルジア症 1件 年齢は60代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 血清型は検査未実施、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は接触感染、ヒブワクチン接種歴は4回接種済みであった。

侵襲性肺炎球菌感染症 11件 血清型はすべて検査未実施、年齢は70代 3件、80代 6件、90歳以上 2件、推定感染地は国内 9件、国内又は米国 1件、不明 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 5件、不明 6件、肺炎球菌ワクチン接種歴は価数不明2回接種済み 1件、無し 4件、不明 6件であった。80代のうち1件は患者の死亡が確認された。

水痘（入院例） 2件 検査診断例 1件、臨床診断例 1件、年齢は5歳未満 1件、30代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は不明 2件、水痘ワクチン接種歴無し 2件であった。

先天性風しん症候群 1件 CRS典型例、母親の妊娠中の罹患歴はあり（推定感染地は国内、風しん含有ワクチン接種歴は不明）であった。

梅毒 30件 患者 18件（早期顕症梅毒Ⅰ期 7件、早期顕症梅毒Ⅱ期 10件、晩期顕症梅毒 1件）、無症候梅毒 12件、性別は男性 19件、女性 11件、年齢は10代 1件、20代 12件、30代 5件、40代 5件、50代 6件、60代 1件、推定感染地は国内 25件、国内又は中国 1件、不明 4件、推定感染経路は性的接触 28件(同性間 5件、異性間 19件、両性間 1件、性別不明 3件)、不明 2件であった。

播種性クリプトコックス症 1件 年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染原因は免疫不全であった。

破傷風 1件 臨床診断例、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は創傷感染であった。

百日咳 33件 年齢は10歳未満 15件（うち5歳未満 6件）、10代 5件、20代 3件、30代 2件、40代 6件、50代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 29件、不明 4件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 15件、3回接種済み 1件、1回接種済み 1件、無し 2件、不明 14件であった。

風しん 3件 すべて検査診断例、年齢は40代 2件、50代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は飛沫感染 2件、不明 1件、風しん含有ワクチン接種歴無し 1件、不明 2件であった。

※ 第43週該当分として〔五類〕百日咳 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患　報告数　2019年44週

上段：報告数
下段：定点当たり

定点種別	対象疾患	2019年 41週	2019年 42週	2019年 43週	2019年 44週	報告医療機関数	定点医療機関数
小児科	RSウイルス感染症	215	155	87	72	259	264
		0.83	0.60	0.33	0.28		
	咽頭結膜熱	65	57	73	77		
		0.25	0.22	0.28	0.30		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	423	419	491	580		
		1.63	1.61	1.88	2.24		
	感染性胃腸炎	809	765	887	983		
		3.12	2.94	3.40	3.80		
	水痘	63	81	83	104		
		0.24	0.31	0.32	0.40		
	手足口病	600	509	453	506		
		2.32	1.96	1.74	1.95		
	伝染性紅斑	40	31	58	48		
		0.15	0.12	0.22	0.19		
	突発性発しん	92	109	97	104		
		0.36	0.42	0.37	0.40		
	ヘルパンギーナ	183	109	75	78		
		0.71	0.42	0.29	0.30		
	流行性耳下腺炎	18	20	25	22		
		0.07	0.08	0.10	0.08		
	川崎病 *1		1	5	3		
			0.00	0.02	0.01		
	不明発しん症 *1	10	17	15	16		
		0.04	0.07	0.06	0.06		
インフルエンザ	インフルエンザ *2	411	243	284	459	409	419
		1.00	0.59	0.68	1.12		
眼科	急性出血性結膜炎					37	39
	流行性角結膜炎	16	11	18	12		
		0.42	0.30	0.49	0.32		
基幹	細菌性髄膜炎 *3		3			24	25
			0.13				
	無菌性髄膜炎	1	1	2	1		
		0.04	0.04	0.08	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	5	4	18	14		
		0.20	0.17	0.72	0.58		
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）			1	1		
				0.04	0.04		
	感染性胃腸炎（ロタウイルス） *4						
	インフルエンザ入院	8	3	3	1		
		0.32	0.13	0.12	0.04		

2019/11/06集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
*2 鳥インフルエンザを除く。
*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。
*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

（ 今週の注目される定点把握対象疾患 ）

- **インフルエンザ**の定点当たり報告数が増加しました。7歳～8歳で特に増加しています。
- **手足口病**は警報レベルが続いています。
- **Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数が増加しており、多摩地区で値が高めです。

定点把握対象疾患　報告数【年齢階級別】2019年44週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	11			8	1	1		1			
6～11か月	16	2	1	51	1	23	2	29	7		
1歳	26	17	11	106	2	123	4	60	21		2
2歳	7	14	17	91	2	110	4	7	5	1	
3歳	3	8	46	90	5	77	6	5	5	2	
4歳	5	14	78	84	12	65	11		7	4	1
5歳	1	9	67	76	6	35	6		8	5	
6歳	1	4	74	80	12	21	8	1	6	4	
7歳	1	2	92	46	26	8	3		4	3	
8歳	1		56	39	12	12	2		1	1	
9歳		1	45	40	7	6	1		1	1	
10～14歳		1	60	106	16	18	1	1	3	1	
15～19歳		1	8	34					2		
20～29歳		4	25	132	2	7			8		
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	72	77	580	983	104	506	48	104	78	22	3
先週比	-15	4	89	96	21	53	-10	7	3	-3	-2

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
　　眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月						1				
6～11か月	2	3								
1歳	5	15		2						
2歳		13		1			1			
3歳	1	20					1			
4歳	2	24								
5歳	1	37								
6歳	1	27					2			
7歳	2	64					2			
8歳		48					1			
9歳	1	21					2			
10～14歳	1	60					3			
15～19歳		11		1			1			
20～29歳		16		4						
30～39歳		36		2						
40～49歳		42		2			1			
50～59歳		15								
60～69歳		5								
70～79歳		1								1
80歳以上		1						1		
合計	16	459		12		1	14	1		1
先週比	1	175		-6		-1	-4			-2

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
　　眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患　定点医療機関当たり報告数【保健所別】2019年44週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田				1.00		1.00			0.33		
中央区			0.67	5.67		2.67		0.67	2.33		
みなと	0.83		1.83	3.00		3.00		0.33	0.17	0.50	
新宿区	0.38		1.38	3.88	0.13	0.63	0.38	0.13	0.13		0.13
文京	0.50	0.25	1.00	1.50	2.00	2.50		0.25	0.25		
台東	0.25	0.50	2.75	8.75	0.75	0.50		1.75	1.75	0.25	
墨田区		0.20	2.40	3.00		2.00		0.20	0.20		
江東区	0.33	0.11	2.33	3.44	0.33	1.56	0.44	0.33	0.11	0.11	
品川区	0.38	0.13	0.75	3.13		1.88		0.63		0.13	
目黒区	0.20	0.40	1.40	5.20	0.40	2.80		0.40			
大田区	0.25	0.50	2.67	7.42	0.50	2.83	0.33	0.33	0.08	0.50	
世田谷	0.25	0.44	2.69	3.63	0.19	2.50	0.06	0.06	0.13		
渋谷区	0.25		0.50	3.75	0.25	1.00		0.25			
中野区	0.17	0.33	2.17	4.83	0.67	1.67	0.17	0.67		0.17	
杉並			1.80	4.00	0.20	0.90		0.30	0.10		
池袋		0.20	0.60	1.80	0.20	0.40			4.20		0.20
北区	0.43		0.43	2.43	0.14	1.71		1.14			
荒川区	0.75	1.25	2.00	7.75	0.75	0.50	1.75	0.75	0.50	0.25	
板橋区	0.10		0.60	3.40	0.10	1.30	0.30	0.40		0.10	
練馬区	0.15	0.08	3.54	2.77	0.23	2.08	0.15	0.38	0.31		
足立	0.54		1.08	4.38	1.08	1.00		0.08	0.08	0.08	0.08
葛飾区			1.75	5.75	0.13	1.25	0.25	0.50	0.38	0.13	
江戸川	0.08	0.08	2.17	4.17	0.08	1.33	0.42	0.25	0.08		
八王子市	0.91	0.64	6.36	4.91	1.36	4.36	0.27	0.45	0.18	0.09	
町田市			4.13	7.00	1.25	3.88	0.13	0.13	0.88	0.25	
西多摩	0.25		1.50	1.75	0.38	2.88		0.38	0.63	0.13	
南多摩	0.44	0.56	2.44	2.44	0.11	1.56		0.56			
多摩立川	0.36	0.07	1.29	1.57	0.71	1.07	0.07	0.14			
多摩府中	0.11	0.74	2.53	2.84	0.11	2.05	0.11	0.63	0.16	0.05	
多摩小平	0.36	1.36	4.57	3.07	0.36	3.21	0.43	0.79	0.36		
島しょ							3.00				

東京都	0.28	0.30	2.24	3.80	0.40	1.95	0.19	0.40	0.30	0.08	0.01

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		1.00					0.50			
中央区		1.40		1.00						
みなと		0.22					1.00	1.00		
新宿区	0.13	0.33					0.50			
文京		1.14								1.00
台東	0.25	0.29								
墨田区		0.38					3.00			
江東区		0.86		1.00						
品川区		0.58								
目黒区		0.25								
大田区	0.25	0.60		1.00						
世田谷	0.06	1.92				0.50				
渋谷区		0.29		1.00			3.00			
中野区		0.40								
杉並		0.38		2.00			0.50			
池袋		0.50		2.00			1.00			
北区		2.09								
荒川区		2.86								
板橋区	0.10	0.81								
練馬区	0.15	1.86								
足立	0.08	0.60		0.50						
葛飾区	0.13	0.31					1.00			
江戸川		1.37								
八王子市		0.72								
町田市		2.23								
西多摩	0.13	0.14								
南多摩		0.43								
多摩立川		0.62								
多摩府中	0.16	4.30					1.00			
多摩小平	0.07	0.67		1.00						
島しょ		1.00								
東京都	0.06	1.12		0.32		0.04	0.58	0.04		0.04

定点把握対象疾患　報告数【保健所別】2019年44週

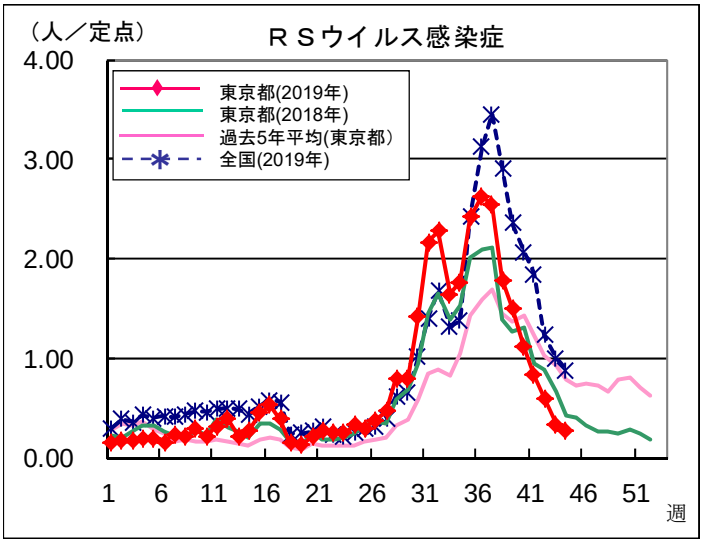
	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病
千代田				3		3			1		
中央区			2	17		8		2	7		
みなと	5		11	18		18		2	1	3	
新宿区	3		11	31	1	5	3	1	1		1
文京	2	1	4	6	8	10		1	1		
台東	1	2	11	35	3	2		7	7	1	
墨田区		1	12	15		10		1	1		
江東区	3	1	21	31	3	14	4	3	1	1	
品川区	3	1	6	25		15		5		1	
目黒区	1	2	7	26	2	14		2			
大田区	3	6	32	89	6	34	4	4	1	6	
世田谷	4	7	43	58	3	40	1	1	2		
渋谷区	1		2	15	1	4		1			
中野区	1	2	13	29	4	10	1	4		1	
杉並			18	40	2	9		3	1		
池袋		1	3	9	1	2			21		1
北区	3		3	17	1	12		8			
荒川区	3	5	8	31	3	2	7	3	2	1	
板橋区	1		6	34	1	13	3	4		1	
練馬区	2	1	46	36	3	27	2	5	4		
足立	7		14	57	14	13		1	1	1	1
葛飾区			14	46	1	10	2	4	3	1	
江戸川	1	1	26	50	1	16	5	3	1		
八王子市	10	7	70	54	15	48	3	5	2	1	
町田市			33	56	10	31	1	1	7	2	
西多摩	2		12	14	3	23		3	5	1	
南多摩	4	5	22	22	1	14		5			
多摩立川	5	1	18	22	10	15	1	2			
多摩府中	2	14	48	54	2	39	2	12	3	1	
多摩小平	5	19	64	43	5	45	6	11	5		
島しょ							3				

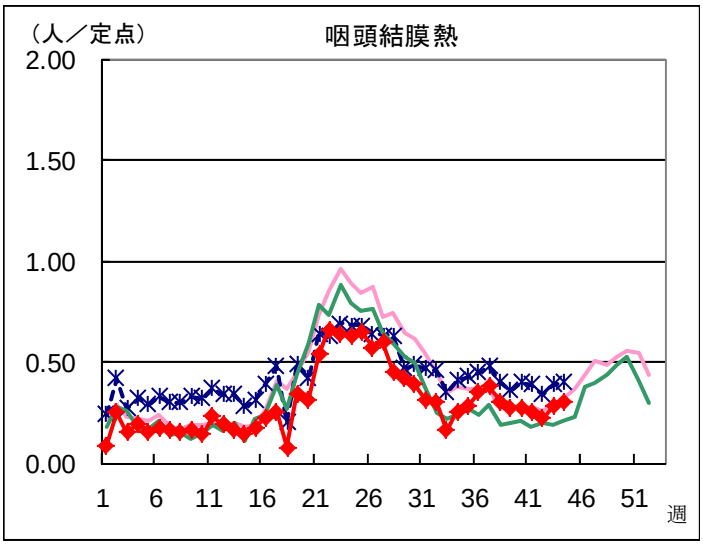
東京都合計	72	77	580	983	104	506	48	104	78	22	3

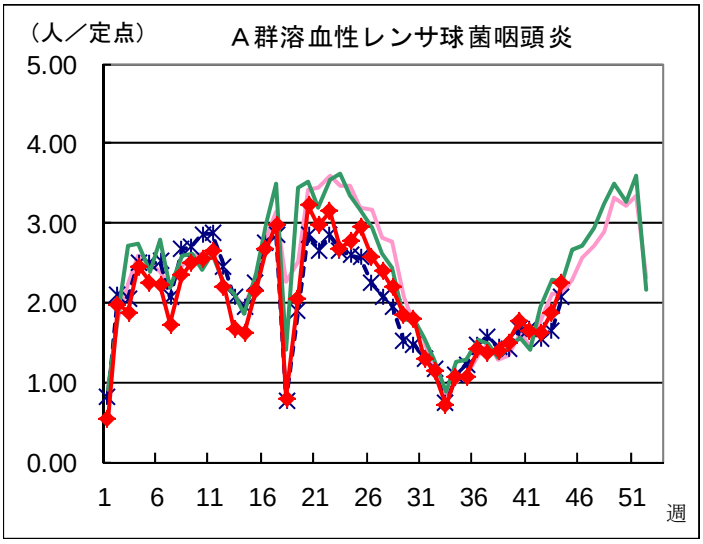
	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		4					1			
中央区		7		1						
みなと		2					1	1		
新宿区	1	4					1			
文京		8								1
台東	1	2								
墨田区		3					3			
江東区		12		1						
品川区		7								
目黒区		2								
大田区	3	12		2						
世田谷	1	48				1				
渋谷区		2		1			3			
中野区		4								
杉並		6		2			1			
池袋		4		2			1			
北区		23								
荒川区		20								
板橋区	1	13								
練馬区	2	39								
足立	1	12		1						
葛飾区	1	4					1			
江戸川		26								
八王子市		13								
町田市		29								
西多摩	1	2								
南多摩		6								
多摩立川		13								
多摩府中	3	116					2			
多摩小平	1	14		2						
島しょ		2								
東京都合計	16	459		12		1	14	1		1

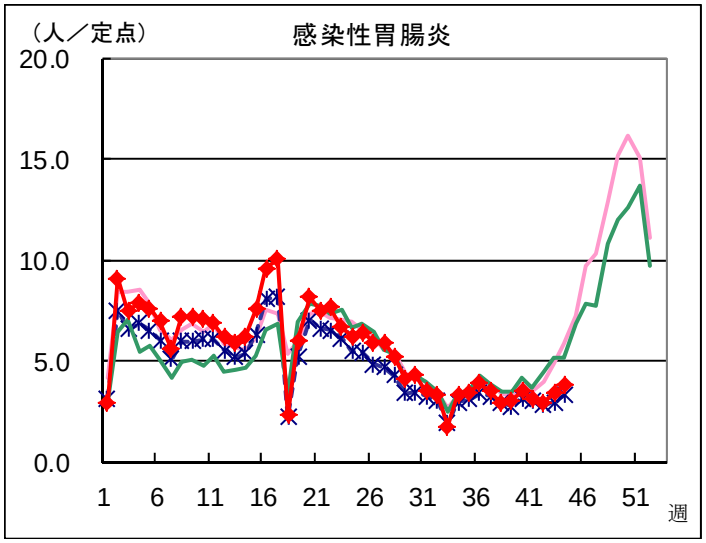
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数（2019年44週 現在）

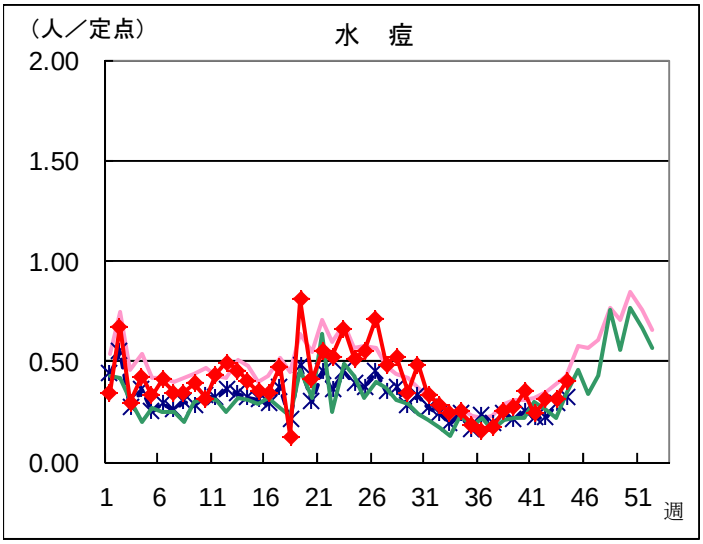
◆ 小児科定点

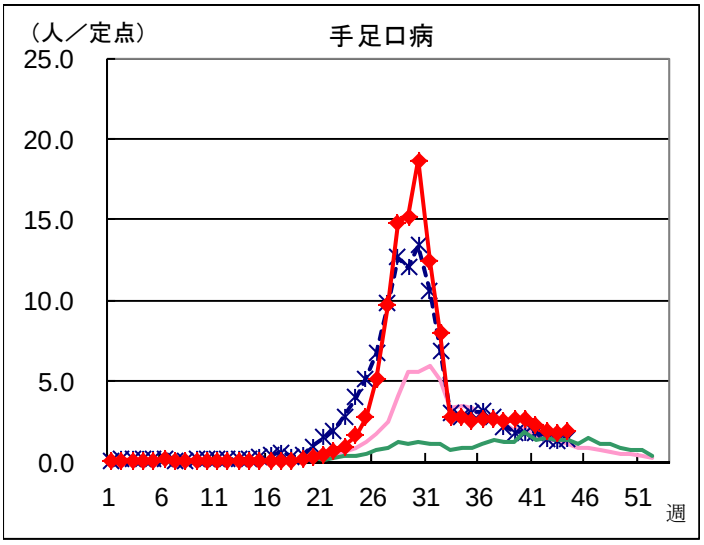


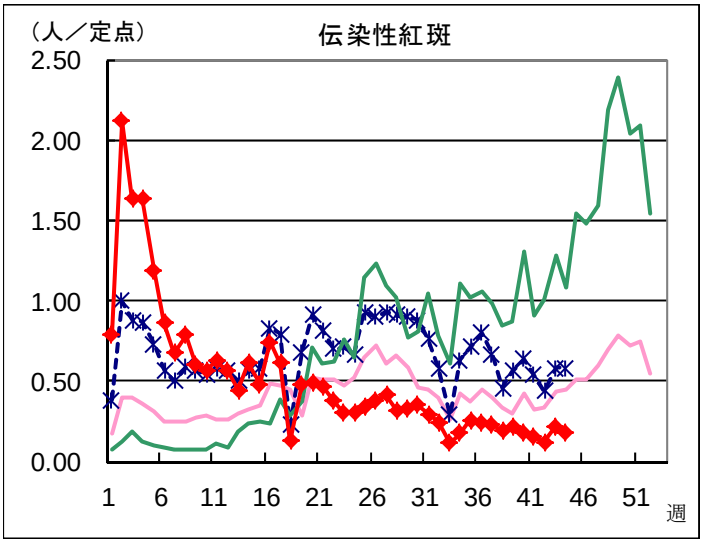


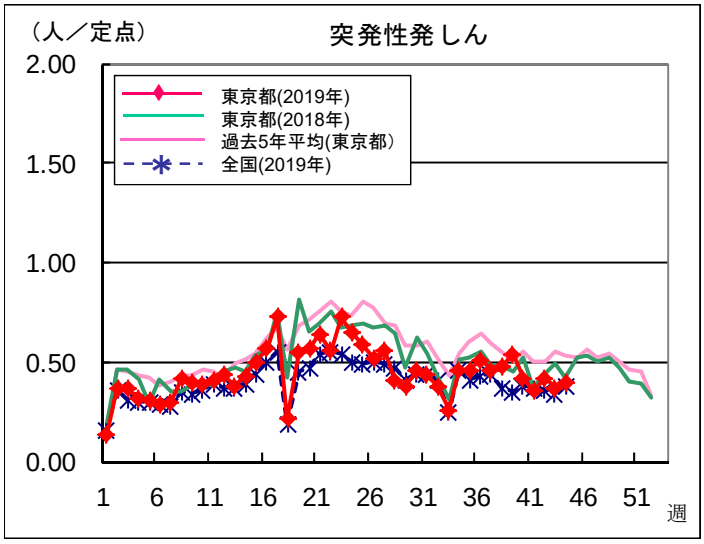


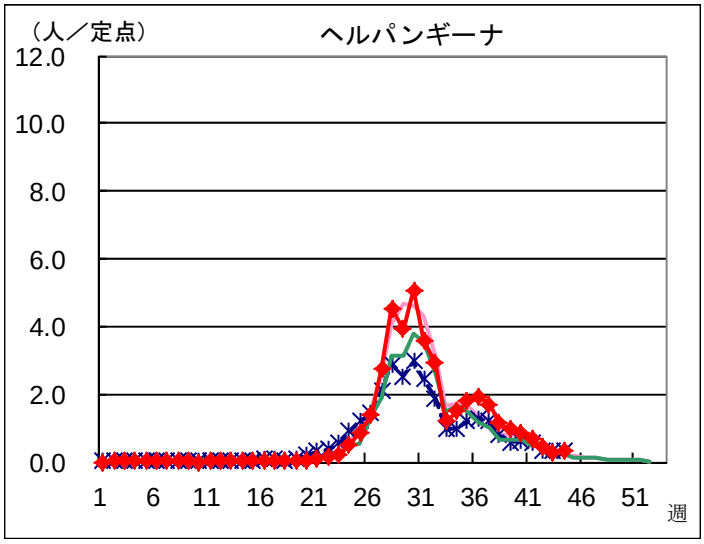


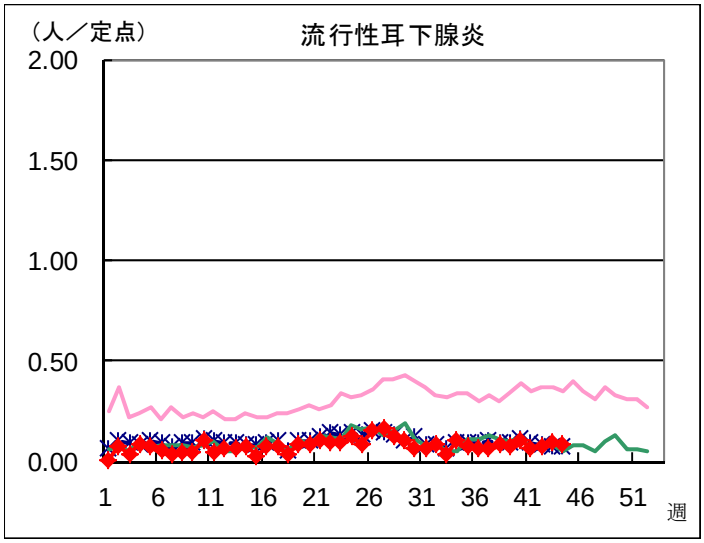


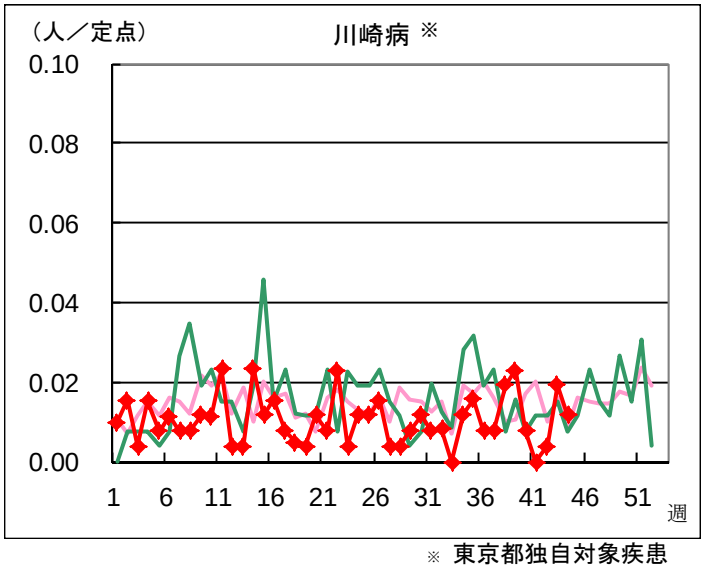




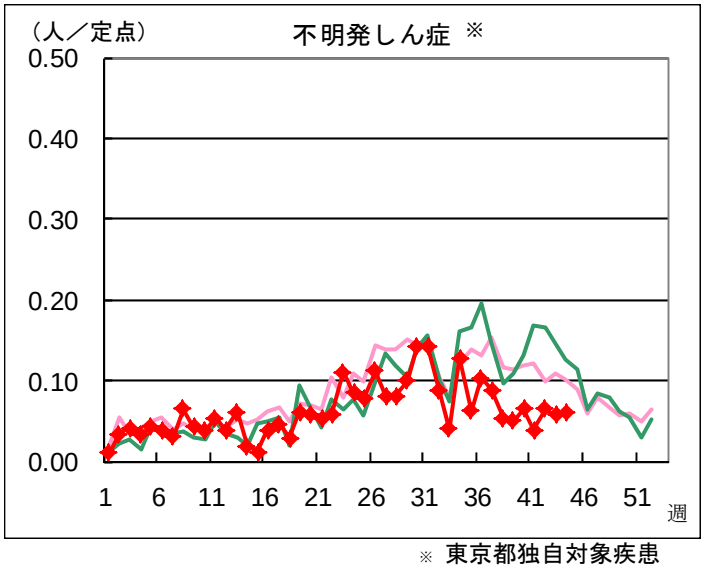






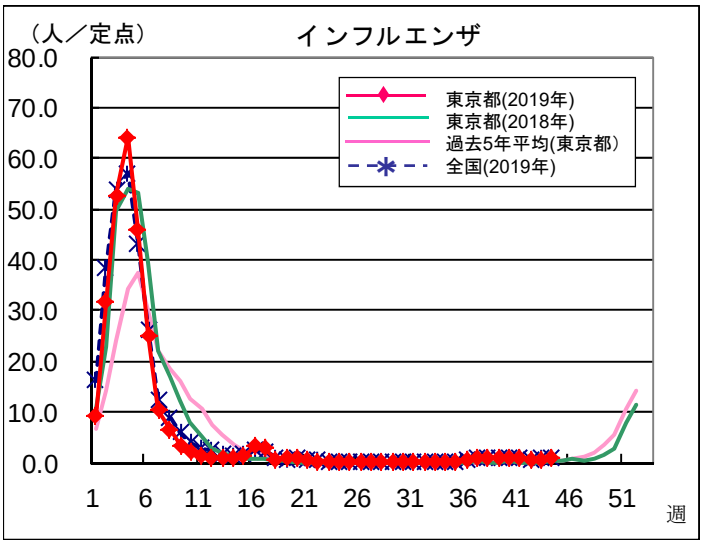


※ 東京都独自対象疾患

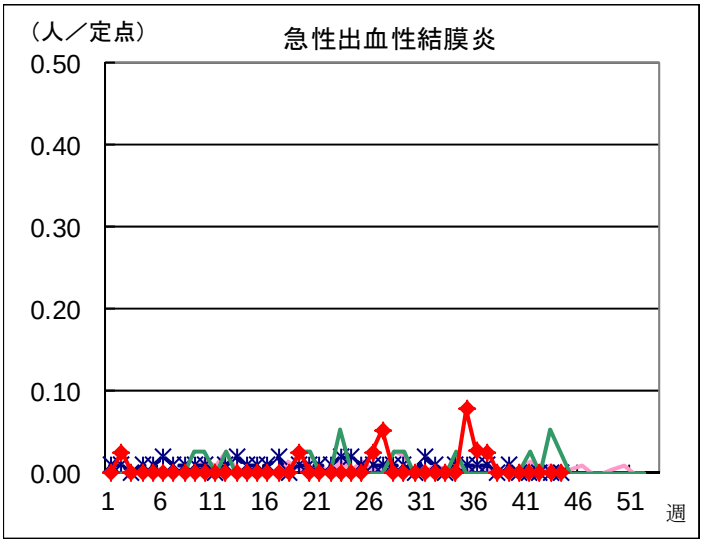


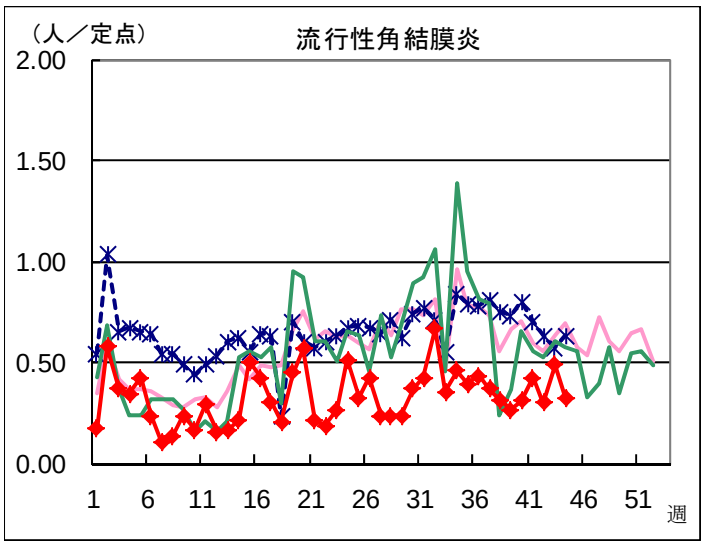
※ 東京都独自対象疾患

◆ インフルエンザ定点

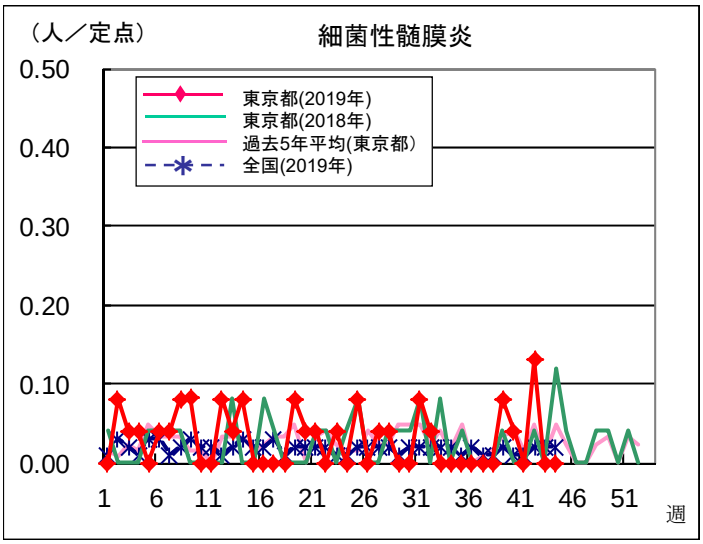


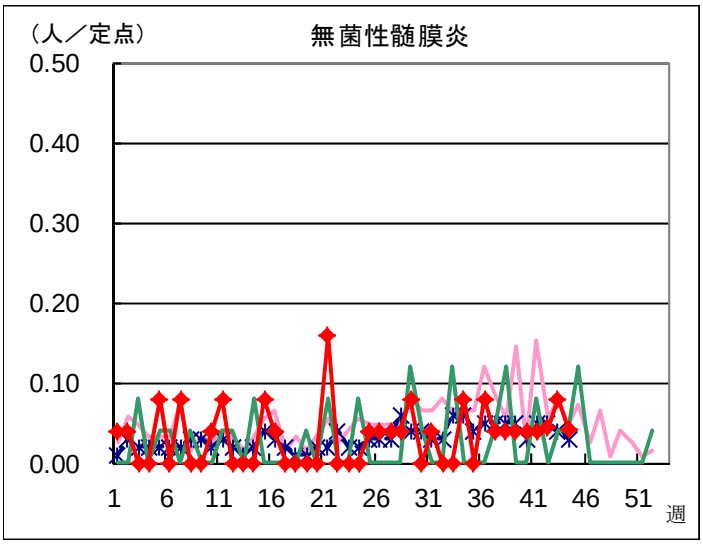
◆ 眼科定点

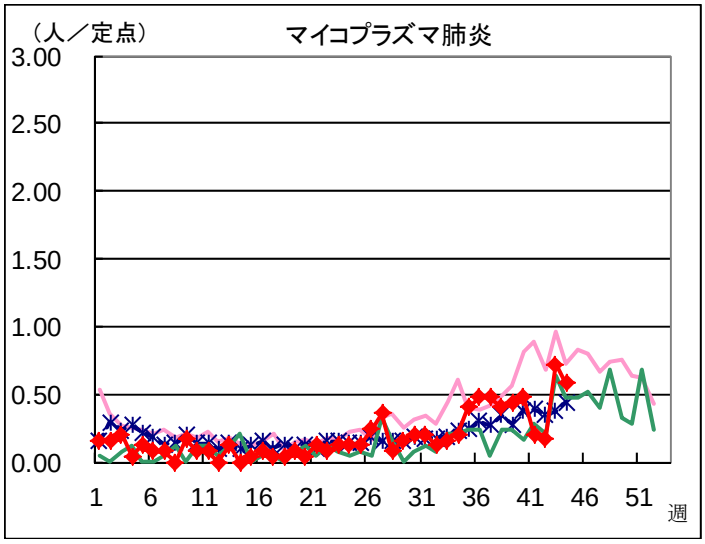


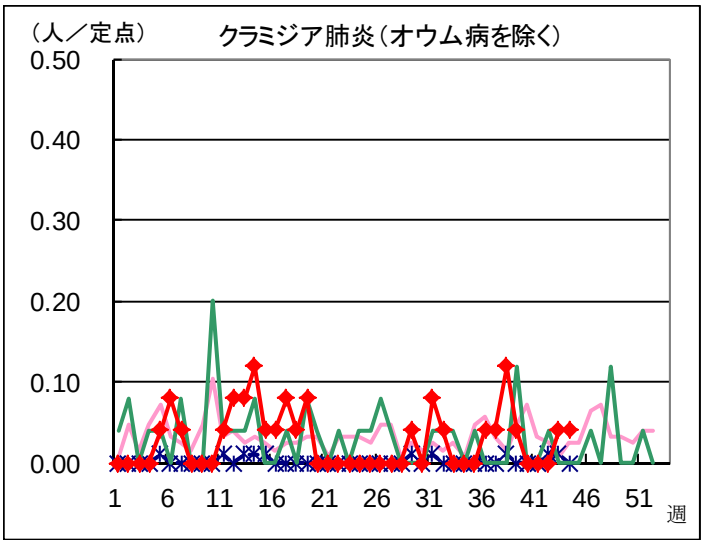


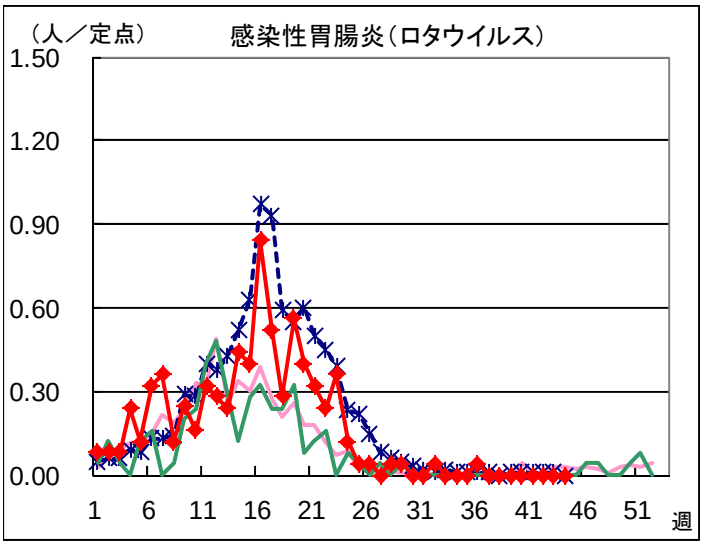
◆ 基幹定点

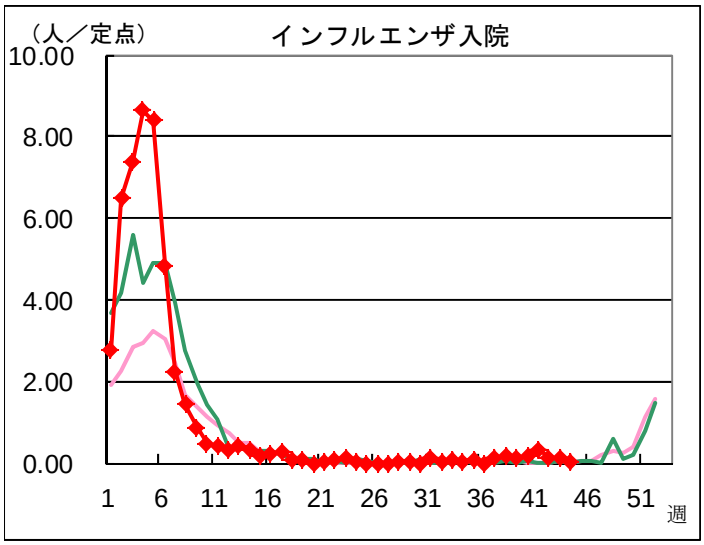

（人／定点）
細菌性髄膜炎
0.50
0.40
0.30
0.20
0.10
0.00
東京都(2019年)
東京都(2018年)
過去5年平均(東京都)
全国(2019年)
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
無菌性髄膜炎
0.50
0.40
0.30
0.20
0.10
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
マイコプラズマ肺炎
3.00
2.50
2.00
1.50
1.00
0.50
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
クラミジア肺炎（オウム病を除く）
0.50
0.40
0.30
0.20
0.10
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
感染性胃腸炎（ロタウイルス）
1.50
1.20
0.90
0.60
0.30
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週


（人／定点）
インフルエンザ入院
10.00
8.00
6.00
4.00
2.00
0.00
1 6 11 16 21 26 31 36 41 46 51
週

定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況（インフルエンザウイルスを除く）

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
9/5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-1型
9/7	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-B3264型
9/12	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-12型
9/15	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-B3264型
9/17	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-28型
9/24	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-4型
9/28	インフルエンザ	1	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1pdm09※ ライノウイルス アデノウイルス2型
10/4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T-6型
10/9	インフルエンザ様疾患	1	咽頭拭い液	ライノウイルス アデノウイルス2型
10/11	手足口病	1	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群16型
10/15	RSウイルス感染症	1	咽頭拭い液	RSウイルスA型
10/15	手足口病	14	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群6型

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2019年42週	3			
2019-2020年 シーズン累計*	22			

＊2019-2020年シーズンの開始は第36週（2019年9月2日～）

病原体検出情報 【週別】

検出病原体	2019年							
	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週
アデノウイルス	4	1		2		1	1	
コクサッキーウイルスA群	3	6	4	1	4	3	1	2
コクサッキーウイルスB群				1				
エコーウイルス							1	
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス				1				
ライノウイルス				1		1	3	
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱しんウイルス				1				
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	2	3	3	1	1	2		
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス			1					
麻しんウイルス								
麻しんA型（ワクチンタイプ）						1		
風しんウイルス								
風しん1a型（ワクチンタイプ）								
ヒトパルボウイルスB19	1					1		
RSウイルス	2	2	2		1	2	2	1
ノロウイルス								
ロタウイルス			1					
サポウイルス							1	
インフルエンザウイルスAH1pdm09		3	2	2	2	7	3	3
インフルエンザウイルスAH3亜型								
インフルエンザウイルスB型Victoria系統								
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
その他のウイルス		2		1				
A群溶血性レンサ球菌T-1型							1	
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型							1	
A群溶血性レンサ球菌T-12型							1	
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型	2	1					1	
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型	1						2	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2019年35週～2019年42週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	12	5	12	8	4	23		7	6	2	2	29	23	17		5		2		
アデノウイルス		1		1									1	1		5				
コクサッキーウイルスA群						16			5			3								
コクサッキーウイルスB群												1								
エコーウイルス												1								
エンテロウイルス71																				
その他のエンテロウイルス						1														
ライノウイルス						1						2	1	1						
ヒトメタニューモウイルス																				
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・帯状疱しんウイルス					1															
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								3				9								
EBウイルス																				
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス										1										
麻しんウイルス																				
麻しんA型(ワクチンタイプ)												1								
風しんウイルス																				
風しん1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトパルボウイルスB19												2								
RSウイルス	12																			
ノロウイルス																				
ロタウイルス				1																
サポウイルス				1																
インフルエンザウイルスAH1pdm09													22							
インフルエンザウイルスAH3亜型																				
インフルエンザウイルスB型Victoria系統																				
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																				
その他のウイルス						3														
A群溶血性レンサ球菌T-1型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型																				
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型			1																	
A群溶血性レンサ球菌T-25型																				
A群溶血性レンサ球菌T-28型			4																	
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			3																	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																				
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																				
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

＜感染症豆知識＞

結核の集団感染対策

本邦の結核罹患率は低下を続け、2017 年には 10 万対 13.3 となったことから、国は 2020 年に結核低蔓延国の指標である 10 万対 10 以下とする目標を立てている。その一方で集団感染は明らかな低下傾向がみられず、特に大都市圏の日本語学校で頻発しているといっても過言ではない。これは、結核罹患率の高いアジアの国から来た潜在性結核感染症の留学生が、日本で結核を発病して教室内や居住家屋内の他の留学生たちに集団感染させるからである。

結核の集団感染は、２家族以上にまたがって２０人以上の感染者がでたときと定義されるが、１人の発病者は感染者６人分に換算される。保健所は、医療機関から排菌している肺結核患者の届け出があると、その患者の生活環境を調査して、感染させた恐れのある家族や勤務先の同僚・学校関係者などに接触者健診を実施する。健診では、胸部 X 線写真（以下胸写）撮影とクォンティフェロンまたは T-SPOT（以下 IGRA）の採血が行われる。胸写で肺結核が見つかれば発病者、胸写で異常がなく IGRA 陽性であれば感染者と判定される。

保健所は集団感染と判れば、厚生労働省に報告するので、毎年その全国集計が公表される。2016 年は 35 件（事業所 13、学校 8、医療機関 7、施設 7）だったが、医療機関からの発生が 1/4 を占めていた。入院した肺結核患者に経過を聞くと、咳・痰症状から風邪と思って診断前に近隣の医療機関を何件も渡り歩いていることが多い。医師・コメディカルは他職種より格段に結核感染のリスクが高いことを意識する必要がある。自院から集団感染を起こさないためにも、全職員に定期健診として胸写を撮り、軽症のうちに診断することが重要である。

（文責　結核予防会複十字病院　尾形英雄）